

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	計画課 都市整備係【問合せ・質問等の先（内線番号） 317】
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 2節 <input type="checkbox"/> 8項 地域防災計画の整備

業務の名称	木造住宅耐震診断業務		
(1) 根拠法令・条例	長久手町木造住宅無料耐震診断員派遣要領		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 2.1% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 27人・日 (臨時雇用者延人数: 9人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	3,465千円 (平成20年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率(補助金がある 場合のみ記載)	75.0% (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	14年度	終了(予定)年度
			26年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

① 業務目的 (達成目標)	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため。
② 業務が対象とする住民 (地域、層)	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅 (在来軸組構法) を所有している人。
③ 業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	町の広報などで啓発を行い、今年度は77件耐震診断を行った。

広報等を利用し周知を図る。

【業務結果の説明指標】

結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
1	診断戸数	53戸	20戸	73戸	77戸	900戸
2						
3						
4						
5						

④ 業務の実施結果 (平成20年度実績)

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

着実に診断を進めながら、災害時の倒壊家屋の減少に寄与できた。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
目標の到達戸数が達成できた(14年から20年度まで638戸)ので、今後は、目標戸数を上げ、安全な町づくりを行っていききたい。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.8点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> ① 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) 4. 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	前々年度と比べ大きく診断件数が上がったため。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	将来目標が早く達成できるように住民周知を継続する。
②改善時期	夏季から冬季にかけて診断希望者を募る。
③改善方法	ダイレクトメールにより対象者に直接診断希望を伺う。